

しほろ社協だより

# ふくしの心

令和5年11月  
101号

## 赤い羽根共同募金スタート!



20周年ありがとう♡復活!全プリキュア大集合!!

繋

9.15 FRI

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いたします。

©2023 映画プリキュアオールスターズF製作委員会



赤い羽根共同募金 × piapro

支えあうココロ、  
未来へ。

初音ミク  
HATSUNE MIKU

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金にご協力よろしくお願いたします。www.akahane.or.jp

Art by ろむに © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net piapro

## 安心・安全・福祉のまちづくり



発行：社会福祉法人 土幌町社会福祉協議会  
〒080-1219 土幌町字土幌西2線167  
TEL(01564)5-2008 FAX(01564)9-5090

この社協だよりは、共同募金(配分金)の一部を充当して作成しています。



10月1日▶12月31日

# 令和5年度 赤い羽根共同募金



10月1日から全国一斉に募金運動が始まりました。  
皆様のご協力をお願いいたします。



## 募金の方法と種類

### 赤い羽根共同募金

10月1日～  
12月31日

日本で共同募金のシンボルであります「赤い羽根」を使うようになったのは、昭和23年の第2回目からです。当時、アメリカでも水鳥の羽根を赤く染めて使っていたことから、それにヒントを得て不要になった鶏の羽根を使うようになりました。「赤い羽根」は、寄付をしたことを表す「共同募金」のシンボルとして、幅広く使われています。今年も皆様のご協力をお願いします。なお、募金の方法は主に次の2つです。

### 一般募金

10月から、一戸あたり300円を目安に各駐在員に取りまとめをお願いしている募金です。

### 特別募金

11月から各地区の募金委員の協力を得ながら取り組む募金です。農村部や法人は従来通りの方法で行いますが、市街地は、封筒募金により実施いたします。なお、封筒募金の方法は次の通りです。

- ①11月に入りましたら市街地の全戸に募金封筒を配布いたします。
  - ②募金に協力いただける方は、募金委員が訪問された際に封筒にお金を入れてお渡してください。（都合により募金委員が訪問されない場合は、各駐在区の募金委員までお届けください。）
- ※500円以上の募金をしていただいた方は、明年発行の社協だよりで紹介させていただきます。なお、匿名を希望される場合は、募金の際にお申出ください。

### 歳末たすけあい募金

12月1日～  
12月31日



「歳末たすけあい運動」は、共同募金運動の一環として地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設、社会福祉協議会等の関係機関・団体の協力のもとに、様々な福祉活動に役立てられます。

### 税金の控除を受けられます

期間中にいただいた募金につきましては、所得税と住民税より一定の基準において控除を受けることができます。法人については全額損金算入ができます。個人の方については以下の通りです。

- 所得税  
寄付金額(年間所得の40%を限度とする額) - 2千円
- 住民税  
{寄付金額(年間所得の30%を限度とする額) - 2千円} × 10 / 100

### 寄付金付バッジ取扱中!

現在、士幌町共同募金委員会事務局では募金バッジ(北海道限定・初音ミク)を500円の募金につき1つ差し上げております。制作費を除いた金額が共同募金に寄付されます。数には限りがありますのでお早めに! 事務所(福祉センター)で取り扱いしています。

### 北海道限定(エゾナキウサギ)



### 初音ミク



# 募金はこのように使われます

昨年、町民の皆様から頂いた募金(2,582,900円)は、今年度さまざまな事業に使われています。



助成先	事業名	助成額
士幌町社会福祉協議会	おたのしみ昼食会開催事業（年間4回開催）	200,000円
	移送サービス事業（町立病院、帯広厚生病院などへ移送）	90,000円
	広報発行事業（社協だより年間3回発行）	330,000円
	地域ふれあい交流事業（ふれあいカフェの開催）	200,000円
	配食サービス事業（月～金曜日）	120,000円
	ふれあいサロン支援事業（町内16カ所のサロンを支援）	1,057,900円
老人クラブ連合会	老人クラブ活動事業（研修会開催、ゲートボール大会等）	30,000円
ことばを育てる親の会	体験学習	30,000円
ふまねっと・しほろ	ふまねっと運動教室	50,000円
愛風会	夏まつりふれあい交流事業	40,000円
士幌町障がい者支援の会	障がい者利用者活動事業	50,000円

# 募金委員が決まりました

今年度の募金委員は下記の通りです。  
募金委員が訪問した際には是非ご協力をお願いします。

(敬称略)

	担当地区	氏名		担当地区	氏名		担当地区	氏名					
北町	高若若葉第一若葉東生	徳葉第一東生 柴田真稔 敦賀謙一郎 水上良明 瀬戸秀樹 七條光寛	西町	平原第一いこい松	永田豊 牛渡ひろみ 中津井良信 齋藤雅哉	佐倉	佐倉北区1班 佐倉北区2班 佐倉北区3班	梅本晴紀 堀江信美 河田浩美					
									中新生	中西南北中北団地中東団地	和田鶴三 瀬口豊子 松井克也 長平和子 貝守良光	佐倉南区1班 佐倉南区2班 佐倉南区3班	山下博司 山岸康明 佐藤輝美
	中大通西	明共勝中士幌・文化		和嶋康彦 渡部雅昭 増村好将 小林利将	友高砂・下二澄陽		田辺豊幸 二川淳一 吉田直弘 長瀬口隆宏						
								睦西南園地光葉り	睦西南園地光葉り	百戸1班 百戸2班 平和北1区(1班) 北1区(2班) 北1区(3班)	鎌田尚吾 竹腰一淳 服部秀樹 山口昌也 小椋彦翔	北中音更益	成田定利 古田全暢 瀬戸敏美 瀬戸新一
睦美南団緑柏みど	睦美南団緑柏みど	西士幌・常盤・実勝南旭区南1区	中田智和 嶋田弥美 矢野一美	西上	東井尚輝 長谷川龍太 遠藤哲也								
						睦美南団緑柏みど	睦美南団緑柏みど	西士幌・常盤・実勝南旭区南1区	中田智和 嶋田弥美 矢野一美	西上	東井尚輝 長谷川龍太 遠藤哲也		
												睦美南団緑柏みど	睦美南団緑柏みど

# 皆様のあたたかいお志ありがとうございます さまざまな福祉の充実に幅広く活用させていただきます

## ●土幌町社会福祉協議会にご寄附

令和5年7月15日～令和5年10月12日  
(寄付順/敬称略)

住 所	寄 付 者	金額(単位:円)	摘 要
互 譲	谷 本 仁 志	100,000	母の逝去に際して
南 一 区	高 橋 清 美	100,000	夫の逝去に際して
平 和	西 部 光 子	100,000	夫の逝去に際して
下居辺第二	永 森 茂 之	100,000	母の逝去に際して
吉 野	小 林 雅 明	200,000	母の逝去に際して
新 生	清 水 さ よ 子	200,000	夫の逝去に際して

本会では、皆さまの善意によって、幅広い福祉活動に取り組んでおり、お寄せいただいた寄付金は身近な地域福祉事業に役立てられております。暮らしやすいまちづくりのために、是非ご協力をお願いします。なお、2,001円以上のご寄付は、**所得税及び住民税控除の対象となります**。ご協力いただける方は、総合福祉センター内 土幌町社会福祉協議会へ。この制度による控除を受けようとする場合には、**役場で確定申告を行う必要があります**。

## ふれあいひろば2023 開催中止のお知らせ

毎年11月に開催しております「ふれあいひろば」について、室内の開催で、大勢の人の中での飲食など、ふれあいひろばの特色に鑑み、今年度も開催を見送ることいたしました。

開催を楽しみにしていただいた皆さま方には残念なお知らせとなり大変申し訳ございませんが、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

なお、代替事業として、令和5年5月に開設した共生型常設型居場所「みんなのもりのくまさん」で、「ふれあいカフェ」を開催します。

ふれあいカフェの詳細は、別途チラシを発行しお知らせいたします。チラシにてご確認ください。



## RUN伴北海道2023参加報告

～認知症になっても安心して暮らせる

土幌町を目指して駆け抜けました～

**9月9日**

「RUN伴(ランとも)」は、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指し、その普及・啓発を目的として、認知症の人もそうでない人もみんなでオレンジ色のTシャツを着て走ったり歩いたりしながらタスキを繋ぎゴールを目指す、日本全国で行われるプロジェクトです。

北海道は「RUN伴北海道」として道内各エリア毎に実施され、十勝エリアでは『世界アルツハイマー月間』である9月に実施し、十勝管内全ての市町村同土タスキをつなぎました。

土幌町では、医療・介護・福祉の関係者や職員等の有志でチーム「RUN伴しほろ」を結成し、2016年から毎年参加していますが、2020年～2022年はコロナ禍で開催が見送られていたため、今年は4年ぶり5回目の参加となりました。

土幌町の走行日となった9月9日はさわやかな秋晴れに恵まれ、スタート地点のアスポ駐車場の上土幌町のランナーから高木町長がタスキを受取ったあと、総勢26名で西2線通りを走行。ゴールの特別養護老人ホームほほえみまでを全員笑顔で駆け抜けました。



この活動を通して、認知症の方や認知症を支えるご家族に対する理解がより一層深まっていくことを願っています。沿道で応援して下さった皆様、グループホームひまわり・えがお、及び特別養護老人ホームで応援して下さった入居者や施設職員・関係者の皆様には心より感謝申し上げます。

ありがとうございました。